

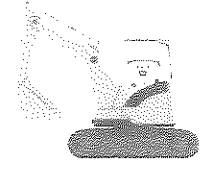
ことばの教室だより

令和7年3月
富士市立昭和幼稚園

子どもたちが植えたチューリップの葉も少しずつ伸びてきて、春の訪れを感じます。この1年間、「いっしょに楽しむ子」を目指して、サーキットや舌の体操、言葉遊びなどで子どもたちと関わってきました。言葉の成長だけでなく心の成長も感じとても嬉しく思います。ご家庭でのご理解、ご協力ありがとうございました。

「ことばのビル」を紹介します！

下の図は『ことばのビル』というものです。「からだづくり」「こころ育て」がビルの土台、そして「ことばを話す力」は最上階となっています。ビルを建てる時に1階から順に建てていくように、ことばの力も生活を基礎に1階ずつ丁寧に積み上げていきましょう。



最上階は「話す力」

○ことばのキャッチボールを大いに楽しみましょう。ことばは、人と人とのかかわり合いの中で育ちます。

4階以上から「知力、ことば育て」

○手をいっぱい使いましょう。
(ボタンをとめる、箸を持つ、折り紙、砂遊び、粘土、手遊びなど)

○色々な経験をしましょう。
感動的・印象的なことがあったら、すかさずことばにかえて、その気持ちを子どもと分け合ひましょう。
(例：リンゴを食べながら、「これはリンゴだよ。」「このリンゴおいしいねえ!」)

○わかることばを増やしましょう。
わかることばが増えると、言えることばにつながります。

○よく喃んだり、なめたりしましょう。

3階は、「こころ育て」

○たくさん遊び、たくさん笑い、「楽しい」「うれしい」など子どもの気持ちに共感しましょう。安定した親子関係がコミュニケーションの基礎となります。

1～3階が土台となります

1・2階は、「からだづくり」

○規則正しい生活で健康なからだを作りましょう。早寝、早起き、朝ごはんが大切です。

○体をたくさん動かして楽しく遊びましょう。

ぶらさがる、跳ねる、走る、投げるなどで体を十分動かしてみましょう。遊びは体と心の栄養です。

